

福島イノベーション・コースト構想関連予算 (復興特会における平成 31 年度概算要求)

平成 30 年 12 月
復興庁

○福島イノベーション・コースト構想関連事業要求額：130.1 億円 (平成 30 年度予算額：134.8 億円、対前年度比 4.7 億円減)

【内訳】

①福島イノベーション・コースト構想推進基盤整備事業（経産省）

平成 31 年度概算要求額：9.2 億円【継続】（平成 30 年度予算額：7.7 億円）

国、県と密接に連携して同構想の推進に取り組む民間団体等が、①拠点施設の運営等、②構想の具体化に向けて関連プロジェクトの創出や関係主体間の連携促進等を進めるために必要な費用の支援を実施

②福島イノベーション・コースト構想（ロボットテストフィールド・研究開発拠点整備事業）（経産省）

平成 31 年度概算要求額：27.2 億円【継続】（平成 30 年度予算額：34.8 億円）

ロボットやドローンの開発に資する実証試験・性能評価を行う福島ロボットテストフィールド及び研究開発拠点の整備の支援を実施

③福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金（共同利用施設（ロボット技術開発等関連）整備事業）（経産省）

平成 31 年度概算要求額：30.9 億円【継続】（平成 30 年度予算額：17.7 億円）

ロボット分野等の先進的な共同利用施設の整備、設備の導入等の支援を実施

④福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金（地域復興実用化開発等促進事業）（経産省）

平成 31 年度概算要求額：61.3 億円【継続】（平成 30 年度予算額：69.7 億円）

ロボット技術等の福島イノベーション・コースト構想の重点分野について、地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等の支援を実施

⑤福島イノベーション・コースト構想に基づく先端農林業ロボット研究開発事業（農水省）

平成 31 年度概算要求額：1.5 億円【継続】（平成 30 年度予算額：1.4 億円）

被災地の担い手不足等に対応し、更なる農林業の省力化に向けて、ICT 活用による和牛肥育管理技術の開発等の支援を実施

※福島県水産試験研究拠点整備事業（農水省）は、平成 30 年度で終了
（平成 30 年度予算：3.6 億円）

○その他の区分に計上されている関連経費の要求について

（１）福島県浜通り地域等の教育再生（8.3 億円）

【内訳】

①福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業（文科省）

平成 31 年度概算要求額：3.3 億円【継続】（平成 30 年度予算額：2.4 億円）

福島イノベーション・コースト構想の実現に寄与する人材を育成するため、構想の中心となる浜通り地域等の教育環境の整備や人材の裾野を広げるための取組の支援を実施

②大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業（文科省）

平成 31 年度概算要求額：5.0 億円【継続】（平成 30 年度予算額：1.5 億円）

浜通り地域等において、福島の復興に資する「知」（復興知）に関する教育研究活動を行う大学等に対して、資金的な支援等を実施

（２）福島再生加速化交付金（884 億円の内数）

【内訳】

①原子力災害情報発信等拠点（アーカイブ拠点）施設整備（復興庁）

平成 31 年度概算要求額：884 億円の内数【継続】

人類がこれまで経験したことのない未曾有の複合災害について、災害の実態と復興の取り組みを正しく伝え、教訓として、国を超え、世代を超えて承継していくため、福島県が行う施設整備等への支援を実施

②福島イノベーション・コースト構想周辺環境整備等事業（復興庁）

平成 31 年度概算要求額：884 億円の内数【継続】

同構想の具現化に向けて、生活周辺環境整備や交流人口拡大、関係者の連携強化に係る新たな産業の創出や産業集積の活性化に資する取組について、福島県が行う調査から実証までの取組について、一貫した支援を実施

以上